

〈毎月1日・15日発行〉
青梅市役所秘書広報課
〒198-8701
青梅市東青梅1-11-1
☎0428-22-1111
FAX 0428-22-3508

発行・編集

迎春

青梅市の人口
令和2年12月1日現在（前月との比較）
世帯数 63,896世帯（20世帯減）
人口 132,256人（94人減）
（男） 66,417人（62人減）
（女） 65,839人（32人減）



幸 せ 結 び 仲條年春さん（河辺町6丁目）の作品

明けましておめでとうございます。市民の皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。



青梅市長 浜中啓一

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の影響により、社会が大きく変容した一年でした。緊急事態宣言が発出され、不要不急の外出自粛、市内全小・中学校の臨時休業など、感染症予防対策にご理解とご協力を賜りました。事業者の皆様や、医療・福祉・保育等の関係者の皆様には、それぞれの立場に応じた感染拡大防止にご尽力をいただき、改めて、感謝申し上げます。

「新しい生活様式」の実践が求められる日々において、失われたものは少なくありません。しかし、この逆境は、地域社会や行政のあり方を再構築する好機でもあります。

今年の干支は、丑（牛）です。「呑牛之氣」という言葉があり、牛を呑むほどの大きな心意気を表します。市民の皆様も、何事にも大きな心で臨んでください。

本年、青梅市は、市制施行から70年という節目の年を迎えます。市政を取り巻く状況は厳しさを増していますが、山と川、豊かな自然が青梅の強みであることに変わりはありません。「あそぼうよー青梅」の思いを胸に、職員と一丸となって市政のさらなる発展に取り組んでまいります。

また、新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を願うとともに、引き続き、感染拡大の影響を受けている市民生活や地域経済の支援に努めてまいります。

結びに、市民の皆様にとりまして、この一年が実り多き年となりますようお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。



青梅市議会議長 久保富弘

市民の皆様、明けましておめでとうございます。平素より、市議会の諸活動に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年1月に日本国内で初めて新型コロナウイルスへの感染者が確認されたから、1年が経とうとしています。4月に緊急事態宣言が出され、私たちの生活は一変し、市民の皆様にとっては、大変苦しい1年だったと思います。外出自粛や学校の休業、施設の使用制限、新しい生活様式への対応、また、感染防止対策に様々な場面でご協力いただいていることに対して深い感謝と敬意を表するものでございます。未だ先が見えなく厳しい状況は続いていますが、そのような時であっても終息に向けて「明けな夜はない」と信じて、お互い力を合わせて、もうしばらくの我慢とご協力をお願い申し上げます。

市議会といたしましても、昨年5月に新型コロナウイルス対策特別委員会を設置し、コロナ関連の様々な市民生活への支援や感染防止対策に、行政側と協力し全力で取り組んでまいりました。まだまだ足りないところもあることは十分認識はしておりますが、引き続き市民の皆様への負担にこたえられるよう議員全員が一丸となって取り組んでまいります。

本年の干支「丑」は我慢や発展の前触れを表す年と言われております。新型コロナウイルスの蔓延に、まだまだ耐え忍ぶ年になるかもしれません。地道に前に進むことで新しい未来につながっていく、そんな年になるよう皆様と共に頑張つてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新型コロナウイルスの一日も早い終息と、市民生活が平穩に戻り、経済活動が回復することをお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。